


このたびは、WAV シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本機の優れた機能をご理解頂き、未永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

<p>ご注意</p> 	<p>水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。</p> <p>本装置の接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。</p>
--	--

目次

	困った時に (トラブルシューティング)	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	各部の名称と機能	4
5	使用電源	5
6	音声出力	5
7	音量調整	5
8	入出力信号	5
9	モードスイッチの設定	6
10	再生モードの説明と用途	7
11	タイマーモードの説明と用途	8
12	接続・配線	9
13	接続・配線 フィーバー演出A-後入力切替再生モードの場合	9
14	接続・配線 フィーバー演出B-順次記憶再生モードの場合	10
15	接続・配線 係員呼び出し-順次記憶再生モード	10
16	拡声アンプとの接続	11
17	拡声アンプとスピーカーとの接続	11
18	外部機器の制御 (BUSY 出力の利用)	12
19	音源(WAVE ファイル)・カードデータ作成手順	12
20	音源 (WAVE ファイル) の作成	14
21	WAVE ファイル登録・カードデータ作成	14
22	カードデータを「スマートメディア」へコピー	16
23	Flash メモリカード「スマートメディア」のセット	16
24	ウォッチドッグタイマー利用自己復旧機能	16
	WAVE ファイル録音ソフト	17
	設置	17
	外形寸法図	17
	標準仕様	18

VoiceNavi

困った時に (トラブルシューティング)

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源LEDが点灯しない	POWERのLEDが点灯しない	電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		極性が間違っている	接続を点検し、接続します。
再生しない接点・アドレスがある	PLAYのLEDが点滅*1	接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
		その接点・アドレスに対応したWAVEファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、そのWAVEファイルをコピーします。
再生しないWAVEファイルがある	PLAYのLEDが点滅*1	WAVシリーズで認識できないWAVEファイル	流通しているWAVEファイルやあるWAVEファイル録音ソフトで録音したものはWAVシリーズで認識できないものがあります。WindowsOSアクセサリのサウンドレコーダー等で開き、別のファイル名で保存し、VoiceMaker3で登録して下さい。
まったく再生しない	PLAYのLEDが点滅*2	スマートメディアがフォーマットされていない	12項を参照の上、スマートメディアをフォーマットし、データ(wpjファイル,WAVEファイル)をコピーします。
		カード内にカードデータファイル(***.wpj)がない	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、VoiceMaker3で作成し、コピーします。
		WAVEファイル(***.wav)がカード内がない	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。ない場合、WAVEファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し(特にCOM端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
再生していたが、再生しなくなった	PLAYのLEDが点滅	カードとカードとの接触不良	電源ONOFFで再生可否の確認。再生しない場合、電源OFF状態で、カードを一旦、抜き、再挿入して再生可否の確認。
		落雷ノイズ等でCPU暴走	ノイズレベルによりウォッチドックタイマー自己復旧は機能しない場合があります。電源ONOFFで「リセット」して下さい。
再生するが、時々、リセット状態	ALM LEDが点灯	ノイズ等でCPU暴走	ウォッチドックタイマー自己復旧しているが、ALM LED、ALM端子は出力を保持。電源ライン、信号ライン、近所にモーター等ノイズ源をノイズ対策します。
入力接点と再生する内容が合っていない。		設定ミス	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
カーがカードコネクタの奥まで入らない		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

*2 PLAYのLEDが点滅した状態で、再生起動を行うとALARMのLEDが点灯します。

再生しない場合の簡単なチェック方法	スマートメディアのフォーマット カードデータファイル .wpj の有無 WAVE ファイル .wav の有無	MODE1 再生モード「通常再生」「タイマー 0秒」に設定します。 MODE2 1-8まで「全てON」に設定します。 電源ONにして、再生するか点検します。
VoiceMaker3パックがある場合	メッセージ・接点端子の割付け WAVEファイル.wpjの試聴 レポート印刷	スマートメディア内のデータを、事前にVoiceMaker3 CardDataフォルダーに収納するフォルダを作成してコピーします。 コピー後、VoiceMaker3を起動し、WAVEファイル登録画面でカードデータファイル.wpjを読み込み、画面表示、印刷、試聴して登録内容を確認します。

VoiceNavi

1.概要

WAV2500-P01 はパーラーにおいて、島単位でパチンコ・パチスロのフィーバー時、ファンファーレ、ナレーションなどの音響演出や店員の呼出メッセージを行う音源に WAVE ファイル、記憶媒体にデジカメのメモリカード「スマートメディア」を採用した再生ユニットです。

島単位でフィーバー時音響演出できますので、心理効果でカスタマーの台滞留時間の延長や新台入替え時のキャンペーン演出が容易に出来ます。

レベル信号対応の順次記憶再生モード搭載し、パチスロ・パチンコ台のレベル出力信号にも対応しており、ワンショットに変換する中継アダプタは必要ありません。最大 16 台までの個別演出もできます。

また AC 電源内蔵、5W のスピーカーアンプを搭載していますので、スピーカーを接続するご使用できます。ライン出力端子装備で外部アンプもご使用できます。

音源も Windows OS の標準サウンド「WAVE ファイル」採用により、使用するファンファーレ、アナウンスもお手持ちのパソコンで手軽に録音・登録できます。

また記憶媒体も市販のデジカメ用 Flash カード「スマートメディア」採用によるデータに書換えやカード交換が手軽に出来ます。

2.特長

「島」単位でフィーバー時の音響演出ができます

「島」単位で店員呼出アナウンスができます

レベル信号対応の順次記憶再生モード搭載

最大 16 台までの個別演出もできます

音源に Windows OS の標準サウンド「WAVE ファイル」採用で、お手持ちのパソコンで録音・登録ができます

市販のデジカメのメモリカード「スマートメディア」採用でデータ書換え・カード交換が容易にできます

ライン出力装備で外部アンプも接続できます

5W スピーカーアンプ搭載

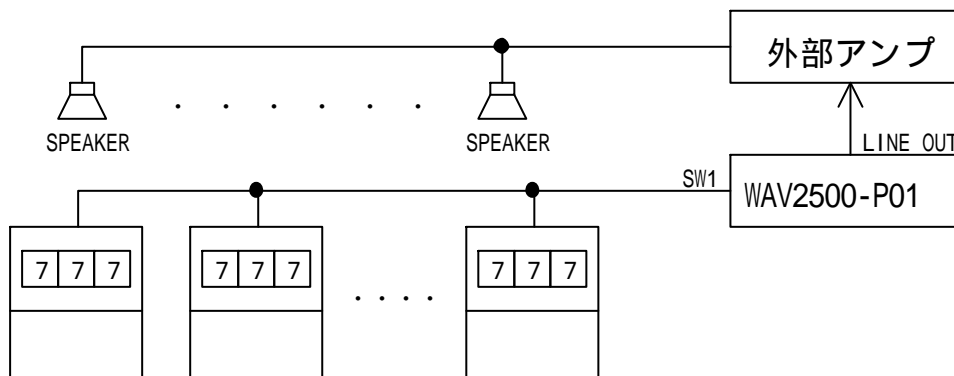
再生中信号出力端子装備で照明演出対応

AC100V 電源

3.主な用途

パーラー「島」用フィーバー音響演出	「ファンファーレA+アラジン+大当たり、おめでとうございます。」 「ファンファーレB+大当たり、ラッキースタート」
パーラー「島」用店員呼出アナウンス	「ピンポンピンポン+11番ブロック+係員、点検して下さい」
パーラー用無線インターカムの音源	

【フィーバー音響演出の場合】

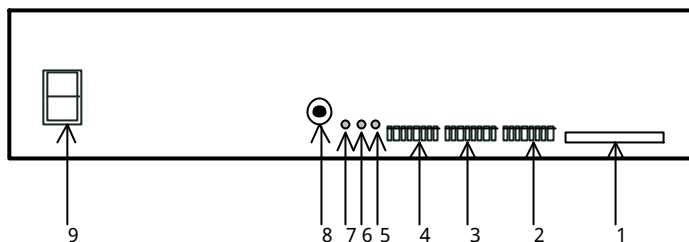


VoiceNavi

4.各部の名称と機能

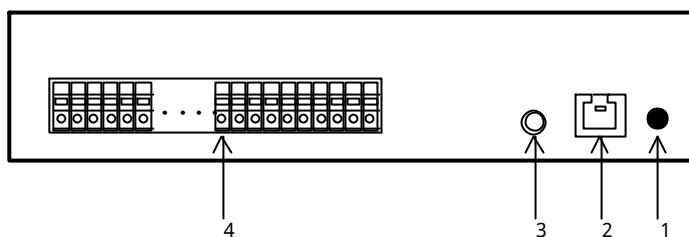
フロントパネル WAV2500 - P01

No.	名称
1	カード挿入口
2	MODE3 スイッチ
3	MODE2 スイッチ
4	MODE1 スイッチ
5	PLAY (再生中)LED
6	POWER LED
7	ALARM LED
8	音量ボリューム
9	電源スイッチ



リアパネル WAV2500 - P01

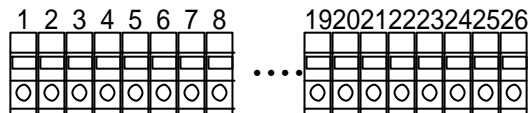
No.	名称
1	AC100V 電源用コード
2	ヒューズホルダー (0.5A)
3	ラインアウト用ジャック
4	スクリューレス端子台



端子台ピンアサイン

No.	表示	I/O	レベル(H/L)	説明
1	COM	I	L	信号用GND
2	ALM	O	L	ビジー信号出力
3	BUSY	O	L	ビジー信号出力
4	OP	I	L	OP(STB)信号
5	STOP	I	L	ストップ信号入力
6	16	I	L	SW16
7	15	I	L	SW15
8	14	I	L	SW14
9	13	I	L	SW13
10	12	I	L	SW12
11	11	I	L	SW11
12	10	I	L	SW10
13	9	I	L	SW9
14	8	I	L	SW8 / D7
15	7	I	L	SW7 / D6
16	6	I	L	SW6 / D5
17	5	I	L	SW5 / D4
18	4	I	L	SW4 / D3
19	3	I	L	SW3 / D2
20	2	I	L	SW2 / D1
21	1	I	L	SW1 / D0
22	COM	I	L	信号用GND
23	+ (SP OUT)	O		スピーカ出力+側
24	- (SP OUT)	O		スピーカ出力-側
25	+ (DC IN)	I		DC + 2.4V電源入力
26	GND (DC N)	I		同上 - 入力

スクリューレス端子台



サトーパーツ : M L - 8 0 0 S 1 H 2 6 P

(注)適合電線

撚線 : 0.3mm² ~ 1.25mm² (AWG22 ~ AWG16)

素線径 : 0.18以上

VoiceNavi

5.使用電源

商用電源 AC100V 電源をご使用下さい。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC100V 電源	AC85V ~ 132V 50/60Hz	約 80mA	約 250mA	ヒューズ 0.5 A
DC 電源	DC+24V ± 5%	約 100mA	約 500mA	左記消費電流はDC+24V時

落雷対策	AC 電源ラインにパソコン用のサージキラー付きコンセントをご使用下さい。
------	--------------------------------------

6.音声出力

拡声アンプを使用する場合、ライン出力に接続します。

接続には市販のミニジャック付きケーブルを加工してご使用下さい。

出力	出力内容	接続
ライン出力	600 -12dBm ~ 2dBm 不平衡	ミニジャック(モノラル) 3.5mm
スピーカー出力	5W max.8	スクリューレス端子台

(注) ライン出力、スピーカー出力は同時に使用できます。

7.音量調整

ライン出力の音量調整は本体の上カバーをはずし、基板上の半固定ボリューム VR2 を調整します。

出力	調整方法
ライン出力	半固定ボリューム VR2 (基板上)
スピーカー出力	シャフト式可変ボリューム

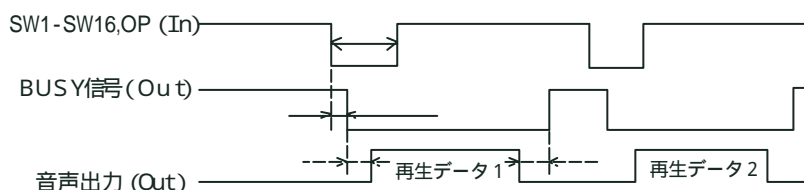
8.入出力信号

無電圧メーク接点信号 (または NPN オープンコレクタ) で使用します。

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/SW1-1 6	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50mS 以上
/OP	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50mS 以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50mS 以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC + 50V 500mA	
/ALM	IN	オープンコレクタ DC + 50V 500mA	

信号のタイミング

No.	信号名称	時間
	SW, OP入力時間	5 0mS以上
	BUSY出力タイミング	5 0mS
	音声出力タイミング	1 0mS
	音声終了タイミング	1 0mS

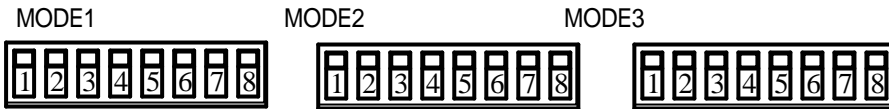


VoiceNavi

9.モードスイッチの設定

電源を切って設定します。(注)電源 ON 時、設定内容を識別します。

スイッチ名	設定内容				
MODE 1	<table border="1"> <tr> <td>再生モード</td> <td>MODE1 SW No.1-3</td> </tr> <tr> <td>タイマー時間</td> <td>MODE1 SW No.6-8</td> </tr> </table>	再生モード	MODE1 SW No.1-3	タイマー時間	MODE1 SW No.6-8
再生モード	MODE1 SW No.1-3				
タイマー時間	MODE1 SW No.6-8				
MODE 2	再生テスト用				
MODE 3	再生テスト用 (原則として未使用)				



再生モードの設定

MODE1 の No.1-3 - ON

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード		
								1	通常再生モード	再生テスト用
								2	後入力切替再生モード	フィーバー演出 A
								3	順次記憶再生モード	フィーバー演出 B 係員呼出
								4	記憶エンドレス再生モード	係員呼出

タイマーの設定 MODE1 No.6-8

タイマーは「通常再生モード」時は従来通りのインターバルタイマーとして使用し、「順次記憶再生モード」時のスイッチ入力時間のインターバルとして使用します。

MODE1 の No.6-8 ON

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード	
								1	インターバルタイマー 15 秒
								2	インターバルタイマー 30 秒
								3	インターバルタイマー 45 秒
								4	インターバルタイマー 60 秒
								5	タイマー無し

テスト用 MODE2・MODE3 No.1-8

本スイッチはテスト用です。

SW1-16 と同一動作をします。ON/OFF でワンショット入力になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	MODE2	MODE3	
								1	SW1 ON と同一動作	SW9 ON と同一動作
								2	SW2 ON と同一動作	SW10 ON と同一動作
								3	SW3 ON と同一動作	SW11 ON と同一動作
								4	SW4 ON と同一動作	SW12 ON と同一動作
								5	SW5 ON と同一動作	SW13 ON と同一動作
								6	SW6 ON と同一動作	SW14 ON と同一動作
								7	SW7 ON と同一動作	SW15 ON と同一動作
								8	SW8 ON と同一動作	SW16 ON と同一動作

VoiceNavi

10.再生モードの説明と用途

用途	再生モード	備考
フィーバー演出	後入力切替再生モード	ワンラインでSW 1(X)に接続して使用
	順次記憶再生モード	原則として台毎に接続
係員呼出	後入力切替再生モード	ワンラインでSW 1(X)に接続して使用
	順次記憶再生モード	原則として台毎に接続
	記憶エンドレス再生モード	原則として台毎に接続
データの再生テスト	通常再生モード	モード2・3のSW のONOFF で使用

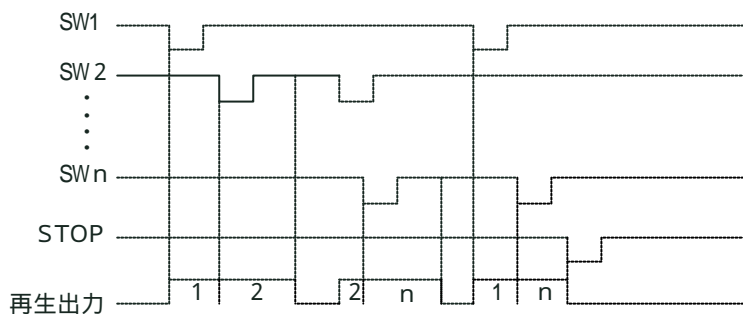
後入力切替再生モード・・・フィーバー演出A

ワンショット入力 (注) レベル入力不可

再生はワンショット入力のための1回再生になります。

再生中は、当該SWを含む全てのSWを検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセーに切り替わります。

ストップ信号入力で即停止します。



順次記憶再生モード・・・フィーバー演出B 係員呼出

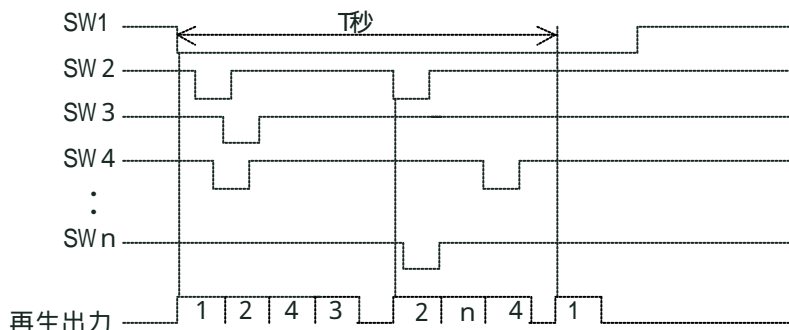
ワンショット入力 レベル入力 (ワンショット入力として記憶)

再生はワンショット入力の1回再生になります。

レベル入力はワンショット入力と見なされ1回再生になりますが、T秒以上レベル入力が続いた時は再度再生を行ないます。(T秒はMODE 1スイッチにより15秒~60秒に設定可)

再生中は、当該SWを含む全てのSW入力を検出し、入力があったSWを記憶し、入力順に順次再生が行われます。入力SWの記憶数は32入力max

ストップ信号入力で即停止し、記憶がクリアーされます。



通常再生モード (データの再生テスト用)

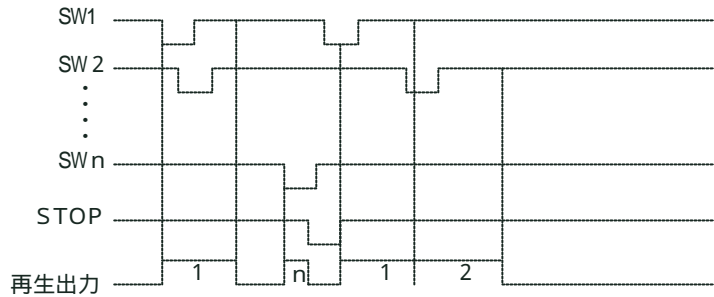
ワンパルス入力時

再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

VoiceNavi

ストップ信号入力により、即停止します。

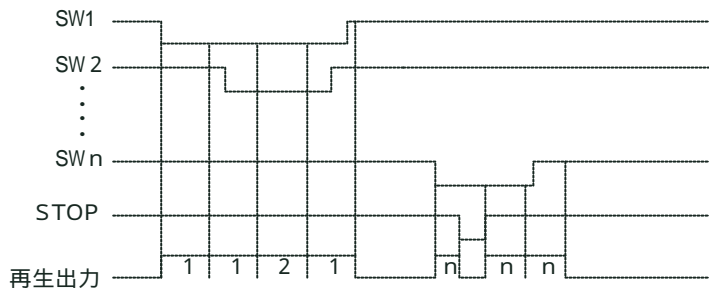


レベル入力時

レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。

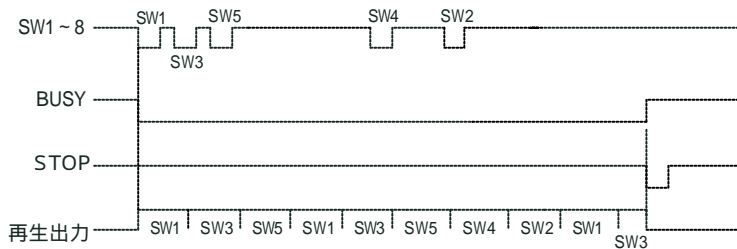


記憶エンドレス再生モード・・・係員呼出

再生はワンショット入力のみのエンドレス再生になります。

再生中は、当該SW以外の全てのSW入力を検出し、入力があったSWを記憶し、入力順に順次繰り返しのエンドレス再生が行われます。入力SWの記憶数は8入力max

ストップ信号入力で即停止し、記憶がクリアされます。



11. タイマーの説明と用途

本モードは下記の用途・再生モードで使用します。

使用用途	再生モード	タイマー	備考
係員呼び出し	順次記憶再生モード	30秒(0~60秒)	オルタネイトSW

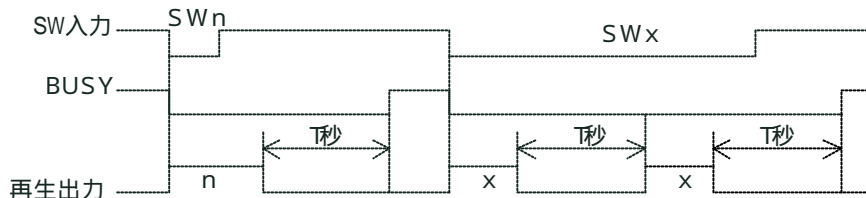
本モードでは、通常、オルタネイト(ロック)スイッチを使用します。

係員呼び出し用の押しボタンをONしますと、その段階で1回、アナウンスします。

タイマー時間経過毎に、そのスイッチを検知し、入力がある場合、アナウンスします。

モーメンタリ(ワンショット)スイッチでは、ONされるごとに記憶し、順番に再生します。

VoiceNavi



SW 入力にて当該メッセージが再生され、再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間 (15 秒 ~ 60 秒) が作動し、経過後に BUSY 信号がオフします。

12.接続 配線

本書記載の「各部の名称・機能」と下記の「参考例・接続参考図」を参照し、接続して下さい。

パチンコ・パチスロ台との接続と再生モードとタイマーの設定

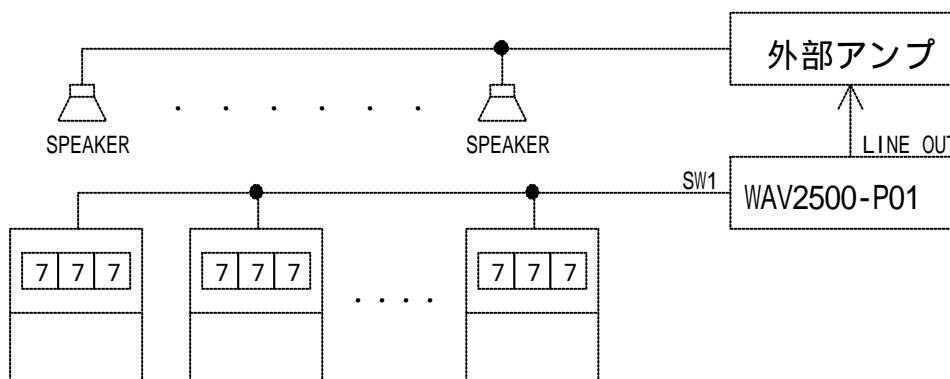
使用用途	再生モード	タイマー	備考
フィーバー演出	後入力切替再生モード	0 秒	1 ライン接続
	順次記憶再生モード	0 秒	台別接続
係員呼び出し	順次記憶再生モード	30 秒	オルタネイトSW

ご注意
<p>接続する場合、必ず電源を切って下さい。</p> <p>AC 電源と DC 電源の併用はできません、必ずどちらか一方を使用下さい。</p> <p>DC 電源には + - の極性がありますのご注意下さい。</p> <p>信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。</p> <p>電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。</p> <p>信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。</p> <p>必要に応じてシールド線等をご使用下さい。</p>

13.接続 配線 フィーバー演出A 後入力切替再生モードの場合

各台の各当たり信号を1 ライン (共通線) に接続し、WAV2500-P01 の SW1 (SW X) に接続します。

再生モード	後入力切替再生モード
タイマー	0 秒
データ登録	SW1(アドレス 001)

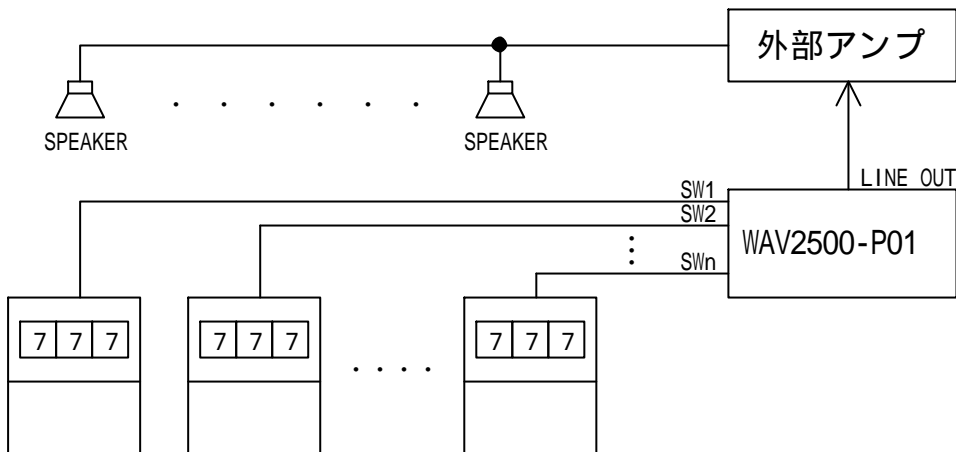


VoiceNavi

14. 接続 配線 フィーバー演出B-順次記憶再生モードの場合

各台の大当たり信号を個別にWAV2500-P01のSW1-16に接続します。

再生モード	順次記憶再生モード
タイマー	0秒
データ登録	SW1-16(アドレス001-016)



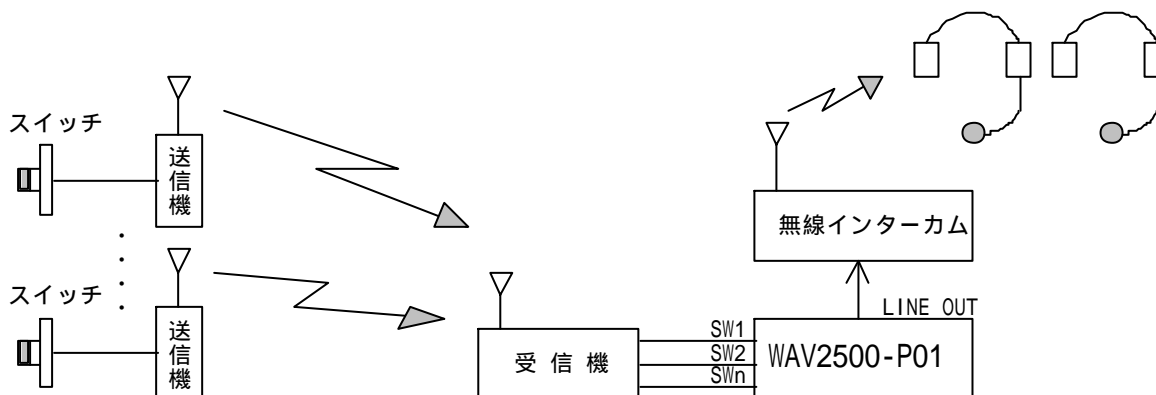
15. 接続 配線 係員呼び出し-順次記憶再生モード

押しボタンは照明式オルタネイトスイッチ(ロックスイッチ)を使用します。

スイッチON時に1回再生、30秒毎に再生をリピートします。

係員がスイッチを解除します。

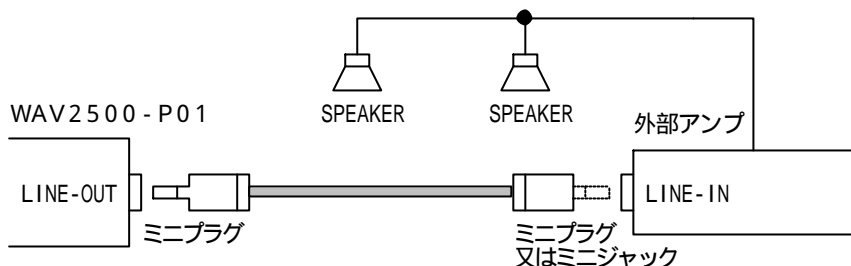
再生モード	順次記憶再生モード
タイマー	30秒 (オルタネイトSW 使用時)
データ登録	SW1-16(アドレス001-016)



VoiceNavi

16. 拡声アンプとの接続

市販のミニプラグケーブル(モノラル)を加工して、拡声アンプのライン入力と接続します。



17. 拡声アンプとスピーカーとの接続

島では、スピーカーを複数設置すると効果的演出ができます。

ローインピーダンス 8 スピーカーを複数接続する場合、下記の条件を厳守して、ご使用下さい。

下記の条件を厳守しない場合、拡声アンプのアンプIC等が破損する場合があります。

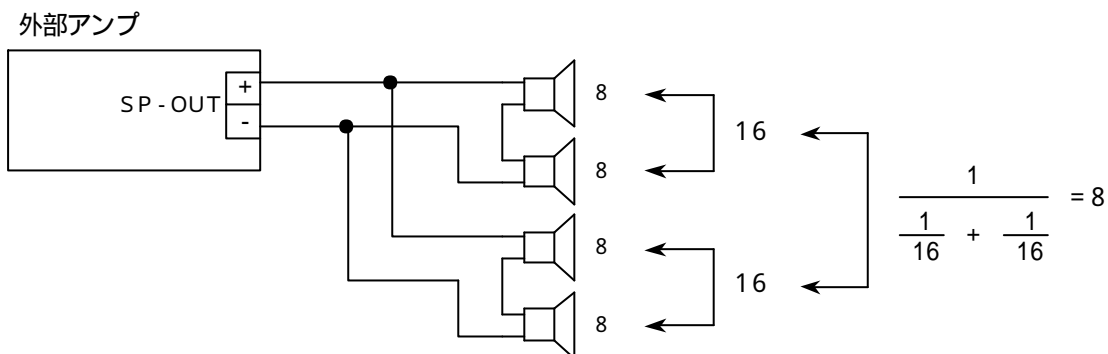
拡声アンプ	BOSE(ボーズ)など小型・高出力アンプを推奨。 アンプ定格出力 スピーカー最大出力×スピーカー台数 (例)20W 以上 = 5W × 4 台 => 30 ~ 40W アンプ 12W 以上 = 3W × 4 台 => 20 ~ 30W アンプ
スピーカー	最大(定格) 8 3W または 5W 音色・音量などはスピーカーによって異なります。 実機で評価し、現場に合ったスピーカーを選択して下さい。 (注)一般的に口径の大きなスピーカーが大きい聞こえる。 但し、BOSE(ボーズ)など小型・高出力のものもあります。
配線	1. 複数接続の場合、線抵抗を少なくするため、太い線をご使用下さい。 2. ノイズ防止のため、シールド線をご使用下さい。 3. 最長 50m 程度 (線抵抗を考慮して下さい)
接続方法	下記のシリアル-パラレル接続(直列-並列接続)で接続します。 合計抵抗値 = 8 (注)拡声アンプの出力能力に余力がある場合、4 程度でも可能。

スピーカーを4 台接続する場合 (シリアル-パラレル接続)

ご注意	スピーカーの数の合計値が 8 になるように接続して下さい。
-----	-------------------------------

拡声アンプ 20-40W ローインピーダンス用アンプメーカー BOSE(ボーズ)他
スピーカー 5Wmax .8

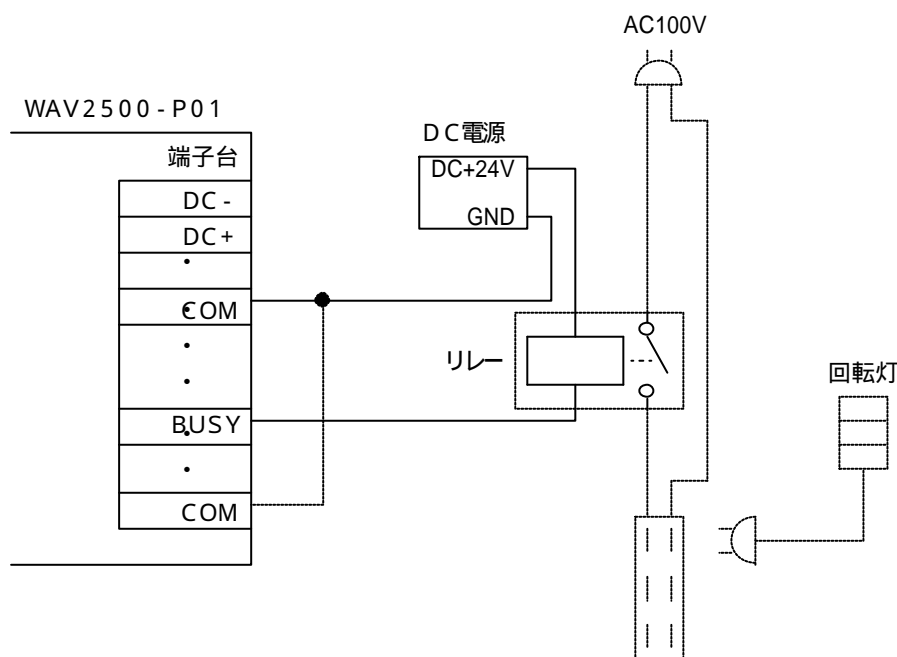
VoiceNavi



18. 外部機器の制御 (BUSY 出力)

WAV2500-P01 の再生時、BUSY 出力します。(タイマー作動時も含む)
 トランジスタ出力で駆動できる外部機器の電気容量に制限があります。
 リレーなどを介して、外部機器を制御するようにして下さい。

BUSY 出力	オープンコレクタ出力 (DC + 50 V, 500 mA)
---------	--------------------------------



19. 音源(WAVE ファイル)・カードデータ作成手順

下記の手順でデータ入りFlash メモリカード「スマートメディア」の作成します。

N o.	項目		内容
1	WAVE ファイル製作 (パソコン録音)	フリーソフト 市販ソフト Windows 付属ソフト「サウンドレコーダ」	Windows パソコンの録音機能を使用し、MIC または外部機器を接続して、録音し、WAVE ファイルを作成します。 通常、市販・フリーウェアの WAVE ファイル録音・編集ソフトでメッセージの前後の無音をカット追加などの編集を行います。

VoiceNavi

2	WAVE ファイル登録	登録エディタ VoiceMaker3	VoiceMaker3 の WAVE ファイル登録画面で上記の WAVE ファイルを、登録します。 また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。
3	アドレス登録 プログラム再生登録	登録エディタ VoiceMaker3	VoiceMaker3 のプログラム再生登録画面でアドレスに WAVE ファイルを割付けします。 また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。
4	カードデータファイル作成	登録エディタ VoiceMaker3	VoiceMaker3 のカードデータ作成画面で所定事項を入力し、カードデータファイルを作成します。
5	レポート出力 (印刷)	登録エディタ VoiceMaker3	必要に応じて、ドキュメントを印刷します。
6	Flash メモリカード「スマートメディア」のフォーマット(初期化)	カードアダプタ	購入したスマートメディアを Windows パソコン上でフォーマット(初期化)します。 (注)市販されているスマートメディアはデジタルカメラフォーマットです。そのままでは使用できません。
7	Flash メモリカードスマートメディアへのコピー	カードアダプタ	上記 2. で作成した WAVE ファイル XXX.wav とカードデータファイル XXX.wpj をスマートメディアにコピーします。

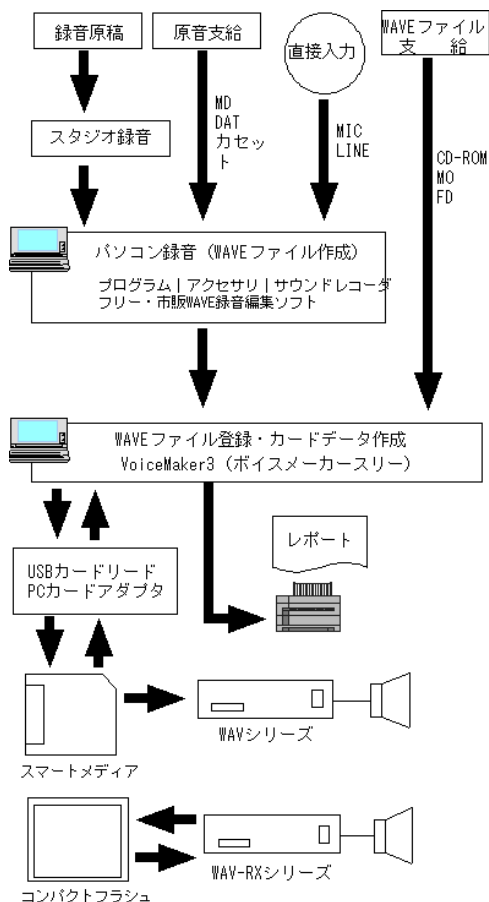
自社で、音源 WAVE ファイル作成・カードデータ作成を行う場合

ハード	パソコン	Windows98/Me/2000
	音響機器	MIC MD デッキ等
	カードアダプタ	128MB 対応を推奨
ソフト	録音・編集	WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」でも録音・編集できます。 フリー・市販ソフトを推奨します。 フリーソフト 「ウェーブパセリ」他 市販ソフト 「デジオンサウンドライト」「WAVE FX」
	リッピング	ファンファーレなどのフリー音源 CD 等のデータを WAVE ファイルにする際に使用します。 MP3 作成ソフト Jet Audio 他 WAVE 録音ソフト WAVE FX 他
	WAVE ファイル登録・カード作成	登録エディタソフト ボイスメーカースリー VoiceMaker3

WAVE ファイルがあり、カードデータ作成のみを行う場合

ハード	パソコン	Windows98/Me/2000
	カードアダプタ	128MB 対応を推奨
ソフト	WAVE ファイル登録・カード作成	登録エディタソフト ボイスメーカースリー VoiceMaker3

VoiceNavi



**自社録音
原音支給**

MD 等で録音します。
または原音を用意します。

スタジオ録音

録音原稿を作成・用意します。

**パソコン録音
WAVE ファイル作成**

Windows パソコンで録音。
WAVE ファイルを作成・ファイル保
存します。

**カードデータ作成
WAVE ファイル登録
アドレス登録
プログラム再生登録**

VoiceMaker3 で WAVE ファイル登
録・アドレス・プログラム再生登録・
カードデータ作成

Flash カードへコピー

USB カードアダプタや PC カードア
ダプタを使用してカードデータファ
イルとWAVE ファイルをコピー。

Flash カードのセット

WAV・WAV-RX シリーズにFlash カ
ードをセット。

20.音源 (WAVE ファイル)の作成 WAVE 録音ソフト参照

録音・WAVE ファイル作成の場合、MDデッキなど録音機器や使用するソフトの取扱説明書を読み、行って下さい。(注)アナログ・デジタル録音やソフトの知識が必要です。

適用 WAVE ファイル	サンプリング :	44.1KHz 8Bit Mono 推奨 44.1/22.05/11.025KHz PCM 8Bit MONO 48.0/32.0/16.0KHz PCM 8Bit MONO
	ファイル名 :	アルファベット英数字 8.3 形式のファイル名 (禁止文字) - () など
	1 ファイルの制限 容量	1WAVE ファイル 16MB 未満以内 (例) 44.1KHz 8Bit Mono の場合 約 4 .8 分 max.

21.WAVE ファイル登録 カードデータ作成 詳細は登録エディタ VoiceMaker3 参照

登録エディタ VoiceMaker3 上の WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム再生登録を行い、カードデータを作成しま
す。

登録の際、登録エディタ VoiceMaker3 上で試聴シュミレーションができます。

登録エディタ VoiceMaker3 上での手順

1	WAVE ファイル登録	使用するWAVE ファイルを登録します。
2	アドレス・プログラム再生登録	上記で登録した WAVE ファイルを接点端子 (アドレス)に登録しま す。 この際、各接点端子(アドレス)に組立再生・リピート回数再生の

VoiceNavi

		登録・設定ができます。
3	カードデータ作成	作成者、作成日などの作成情報を入力し、カードデータを作成します。 下記の場所に作成したカードデータのフォルダができます。 プログラム VoiceMaker3\CardData\内
4	レポート出力	下記の情報を印刷できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ WAVE ファイル登録情報 ・ アドレス・プログラム再生登録情報 ・ カードデータ作成情報

WAVE ファイル登録

WAVE ファイル登録画面で使用するWAVE ファイルを事前に登録します。試聴できます。

アドレス・プログラム再生登録 登録エディタ VoiceMaker3 参照

アドレス・プログラム再生登録画面で、該当する接点端子(アドレス)にWAVE ファイルを登録します。WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルが何回でも登録できます。

またスイッチ(アドレス)毎に最大 8WAVE ファイルまでの組立再生、5 回までのリピート回数再生の設定ができます。試聴できます。

端子台	VoiceMaker3 上の アドレス・プログラム再生 登録画面 No.	組立再生登録	リピート回数登録
SW1	001	8wav ファイル max x	5 回 max
SW2	002		
SW3	003		
SW4	004		
SW5	005		
SW6	006		
SW7	007		
SW8	008		
SW9	009		
SW10	010		
SW11	011		
SW12	012		
SW13	013		
SW14	014		
SW15	015		
SW16	016		

登録画面

No.	SP	R	1	2	3	...	8
001	1	1	ファンファーレA	音声 1	音声 2		
002	1	1					

SW1(001) => ファンファーレA + 音声 1 (アラジンA) + 音声 2 (大当たり、おめでとうございます)

ポイント	島単位 (機種毎) にファンファーレ、音声内容を変えた方が効果的な演出ができます
------	--

カードデータ作成

カードデータ作成画面で、カード名称、カードデータファイル名、作成日、作成者など入力して、作成ボタンを押します。

下記の場所に作成したカードデータフォルダができます。

| プログラム | VoiceMaker3\CardData\カード名称フォルダ |

上記のフォルダ内にカードデータファイル (.wpi) を作成し、を収納元のフォルダから登録した WAVE ファイル (wav) を複写します。

VoiceNavi

22 カードデータを「スマートメディア」へコピー カードアダプタの取扱説明書参照

上記で作成したカードデータ カードデータファイル (.wpj) とWAVE ファイル (wav) をFlash カード「スマートメディア」にコピー(複写)します。

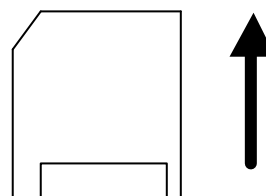
1	カードのフォーマット(初期化)	カードアダプタ	Windows 上でフォーマットします。 市販の「スマートメディア」はデジタルカメラのフォーマットです。そのままでは使用できません。 Windows 上のリムーバルメモリとして使用します。
2	カードデータのコピー	カードアダプタ	上記フォルダ内の カードデータファイル (.wpj) と WAVE ファイル (wav) を「スマートメディア」にコピーします。

適用メモリカード	「スマートメディア」 8/16/32/64/128MB	3.3V タイプ	ID 付 4D 無し・・・どちらでも可 購入した場合、パソコン上でフォーマット(初期化)してご使用下さい
----------	--------------------------------	----------	---

適用 カードフォーマット	OS	対応アダプタ
	Windows98	PC カードアダプタ USB 対応カードアダプタ
WindowsMe	PC カードアダプタ USB 対応カードアダプタ	
Windows2000 FAT	PC カードアダプタ USB 対応カードアダプタ	

23 Flash メモリカード「スマートメディア」のセット

金色接触部を下にし、カードコネクタに軽く、水平に挿入します。
最後まで確実に挿入して下さい。



24 ウォッチドッグタイマー利用自己復旧機能

外来ノイズ等により、装置内のCPUが暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーによりCPUに強制リセットをかけます。これにより、CPUはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。またこの際、ALM信号を出力し電源をOFFするまで、保持状態を続けます。

(注)強力なノイズ等の場合、本機能が機能しない場合があります。電源ON/OFFでリセットしてください。

VoiceNavi

WAVE ファイル録音ソフト

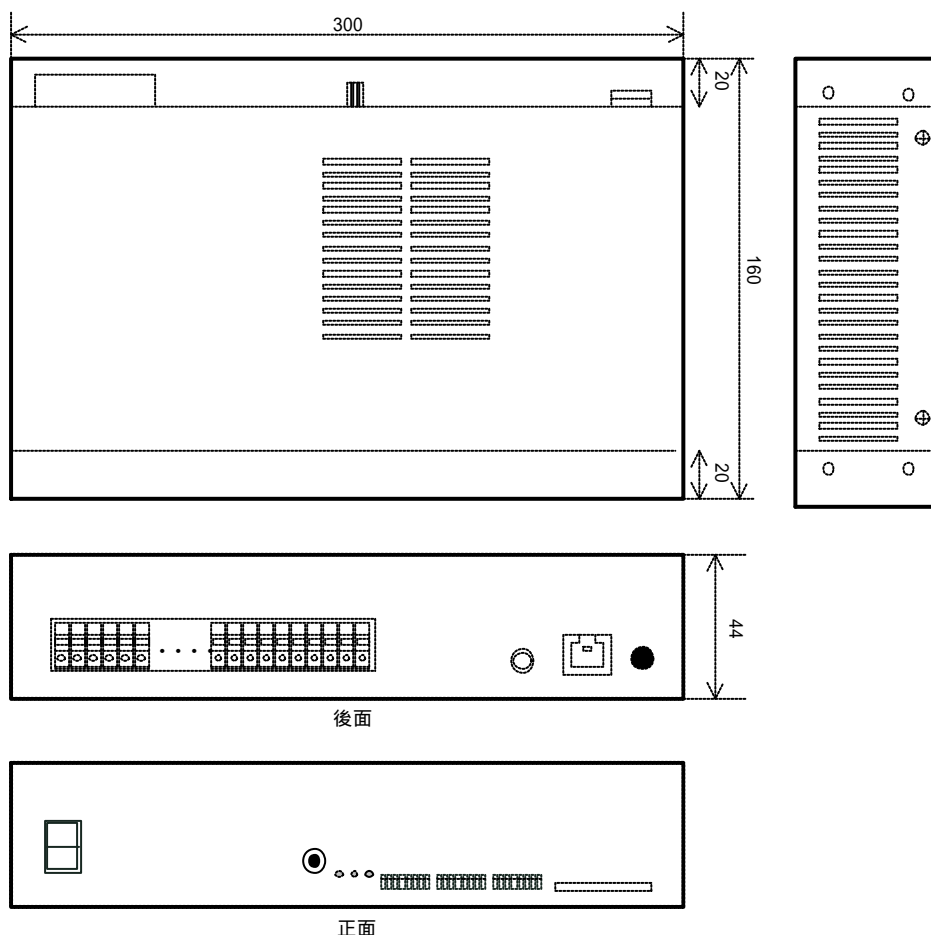
	ソフト名	内 容
WindowsOS 付属	サウンドレコーダー	WindowsOS 付属の録音再生ソフト スタート プログラム アクセサリ マルチメディア サウンドレコーダー (注)最長 1 分間までしか録音できません。
市販ソフト	Digi On Sound Light 「デジオンサウンドライト」	・複数トラック編集、加工・編集機能が充実。 ・ノイズ処理・帯域圧縮・ファイルコンバートなども充実。
	WaveFX 「ウェーブエフェックス」	・初心者でも分かりやすい操作 ・スライス機能 (無音を検出、自動ファイル切りだし)。 ・ファイルコンバート機能、加工機能も充実
	Sound It! 「サウンドイット」	・初心者でも分かりやすい操作 ・ファイルコンバート機能、加工機能も充実
フリーウェア・ シェアウェアソフト	「WavePaseri」 「サウンドエンジン」他	録音や簡単な加工程度なら充分。 但し、ファイルコンバートやノイズ処理は市販ソフトを推奨。 Vector などからダウンロード、または PC 雑誌の CD からインストールできます。

注意 ステレオ、16Bit の場合、「ファイルフォーマットの変換」で MONO、8Bit に変換して下さい。
(注)非常に「ノイズ」な音になる場合があります。
この場合は、MONO、8Bit で録音した WAVE ファイルをご使用下さい。

設置

スタンドアロン(据置) 本体をそのまま、据置設置します。 外形寸法図参照
ビス止めによる設置 底面または側面のビス穴を使用して固定します。
L金具使用による設置 オプション WAV-LKANAGU を使用して固定します。

外観図 外形寸法図



VoiceNavi

標準仕様

定格使用電圧	AC100V (AC85 ~ 132V) 50/60Hz または DC+24V ± 10%	AC 電源コード スクリューレス端子台
消費電流	AC100V時 待機時 約 80mA DC+24V時 待機時 約 140mA	最大時 約 250mA 最大時 約 500mA
寸法・重量	300W X 160D X 40H mm 突起部含まず 約 2.5kg	
塗装 仕上	グレー 焼付塗装	
使用温度・湿度	- 5 ~ 55 35% ~ 80% RH (但し結露なき事)	
保存温度	- 10 ~ 70	
音声出力	LINE 出力 600 不平衡 0dBm 調整可 スピーカ出力 5Wmax 8	
音量調整	LINE 出力 本体内ボード上の半固定 VR2 -12dBm ~ 2dBm スピーカ出力 シャフト付可変ボリューム	
制 御	入力部 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ /SW1-16 /STOP 出力部 オープンコレクタ出力 (DC + 50V, 500mA) /BUSY /ALM	
再生モード タイマー	用途に合わせ、DIPSW で設定	
	フィーバー音響演出用 係員呼び出し用	後入力切替再生モード 1ライン接続
	係員呼び出し用	順次記憶再生モード 台別接続 16台 max
		記憶エンドレス再生モード 台別接続 16台 max
		後入力切替再生モード 1ライン接続
	テスト用	通常再生モード DIPSW 使用
インターバルタイマー	0/10/15/20/30/40/45/60 秒 (DIPSW で設定)	
適用メモリカード	フラッシュメモリカード「スマートメディア」8/16/32/64/128 適用フォーマット: Windows95/98/ME/2000 (FAT) 対応	3.3V タイプ 1枚 max.
再生チャンネル数	接点制御 16接点 max プログラム再生登録対応	
再生方式	WAVE ファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025 KHz PCM 8Bit モノラル	
再生帯域	300 Hz ~ 10 KHz	
登録時間	カード容量とWAVE ファイルのサンプリング周波数による	
		44.1KHz
	32MB	11.2 分
	64MB	22.4 分
	128MB	44.8 分
	(注) 1WAVE ファイル制限16MB 未満	
再生時間	登録した時間 またはプログラム再生登録した場合、プログラム内容による	
プログラム再生 登録機能	本機能は、カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 上で設定します。 組立再生登録 1接点 8 WAVE ファイル max. リピート回数登録 1接点 5回 max.	
適用音源・録音装置	WAVE ファイル PCM 8Bit Mono Windows98/ME/2000 パソコンの録音機能による	
カードデータ作成ソフト	登録エディタ VoiceMaker3	

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

02-WAV-25P01-UM-01 020629

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

URL <http://www.voicenavi.co.jp> E-mail info@voicenavi.co.jp